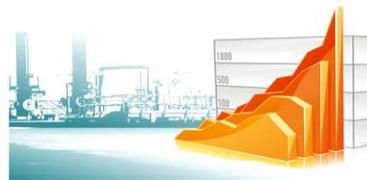


ぎふ経済レポート



令和7年1月分
岐阜県商工労働部

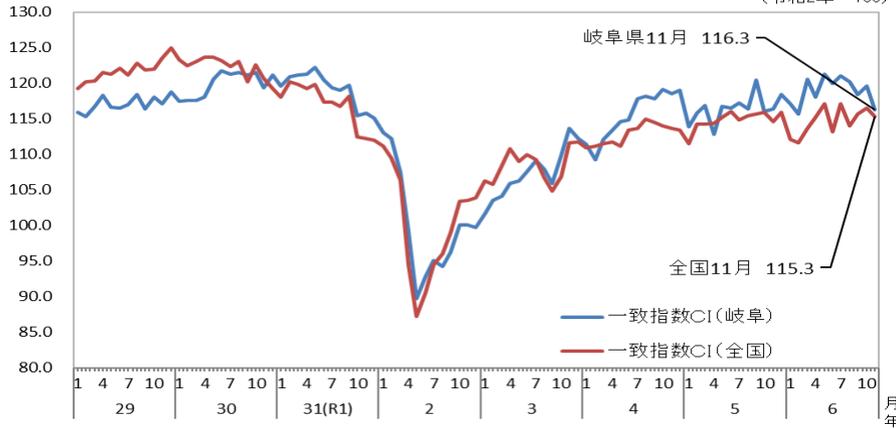
※企業等へのヒアリングは1月27日～29日を中心に実施し、2月25日時点で作成。

景気動向

- 11月の景気動向指数(一致指数)は、116.3で前月比▲3.3ポイントとなった。
- 12月の県内中小企業の景況感は、▲18.0で前月比▲2.0ポイントとなった。

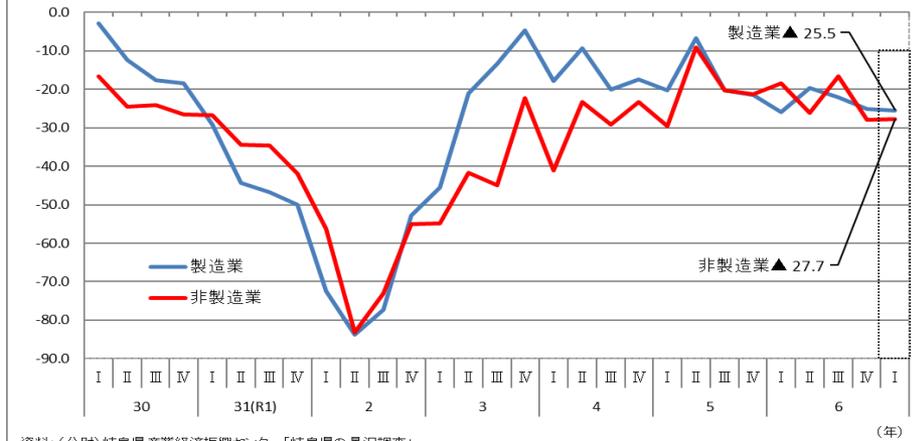
- 1-3月期の景況DI見通しは、製造業で前期比▲0.3ポイント、非製造業で同0.3ポイント上昇となった。売上高DI見通しは、製造業で前期比▲5.0ポイント、非製造業で同▲2.1ポイントとなった。

岐阜県及び全国の景気動向指数(一致指数)の推移 (令和2年=100)



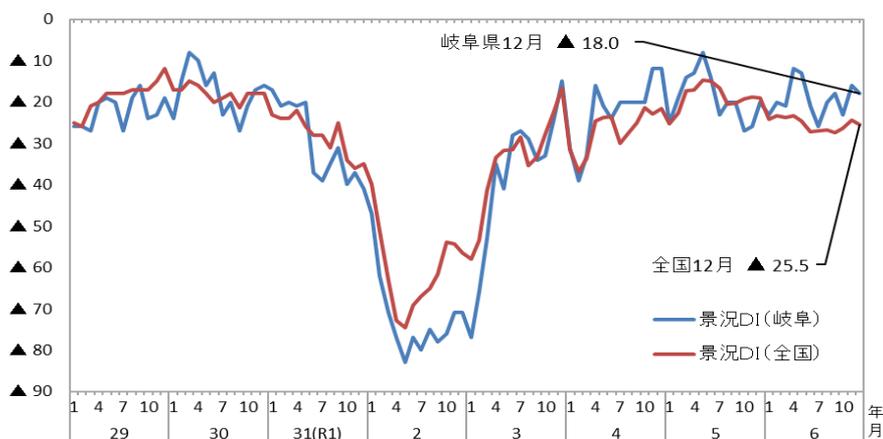
資料: 県統計課「岐阜県景気動向指数」、内閣府「景気動向指数」

県内企業の景況DI(増加-減少)の推移



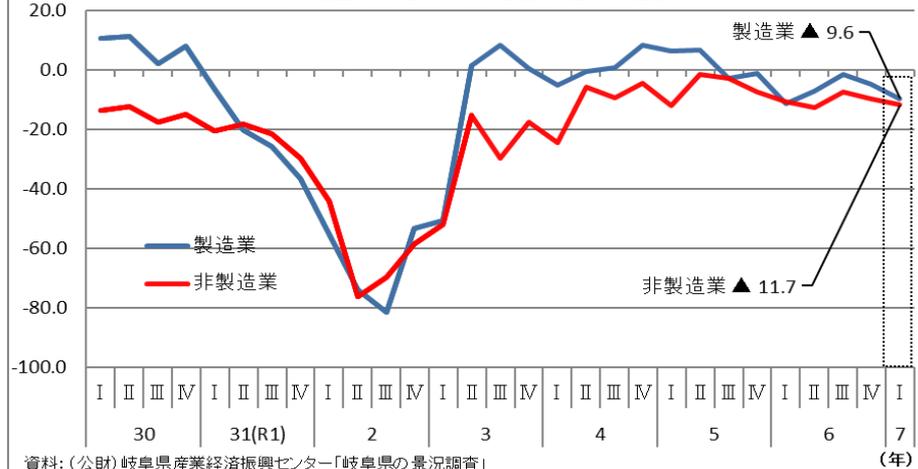
資料: (公財)岐阜県産業経済振興センター「岐阜県の景況調査」

岐阜県及び全国の中小企業の前年同月比景況感DI(好転-悪化)の推移



資料: 岐阜県中小企業団体中央会「岐阜県内中小企業の景況動向」、全国中小企業団体中央会「中小企業月次景況調査」

県内企業の売上高DI(増加-減少)の推移



資料: (公財)岐阜県産業経済振興センター「岐阜県の景況調査」

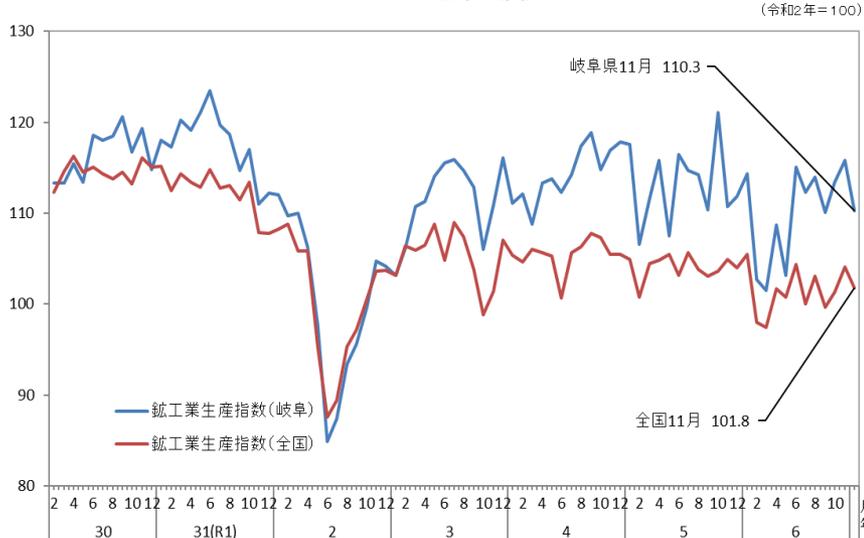
製造業

○11月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、110.3で前月比▲4.7%となった。

○産業別の前月比では、電気機械、鉄鋼業、非鉄金属で上昇となった。一方で、化学工業、輸送機械、窯業・土石、プラスチック製品、はん用、金属製品で低下した。

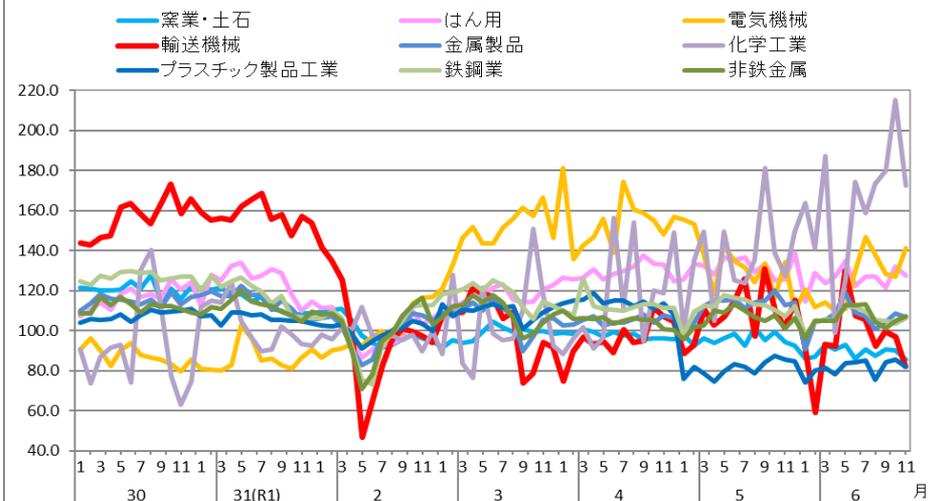
○11月の主な産業の指数は、電気機械で前月比11.0%、鉄鋼業で同2.5%、非鉄金属で同2.3%上昇となった。一方で、化学工業で同▲19.7%、輸送機械で同▲15.0%、窯業・土石で同▲5.1%、プラスチック製品で同▲4.7%、はん用で同▲3.4%、金属製品で同▲1.4%となった。

鉱工業生産指数の推移



資料: 県統計課「岐阜県鉱工業指数」、経済産業省「鉱工業生産指数」

主な産業の鉱工業生産指数



資料: 県統計課「岐阜県鉱工業指数」

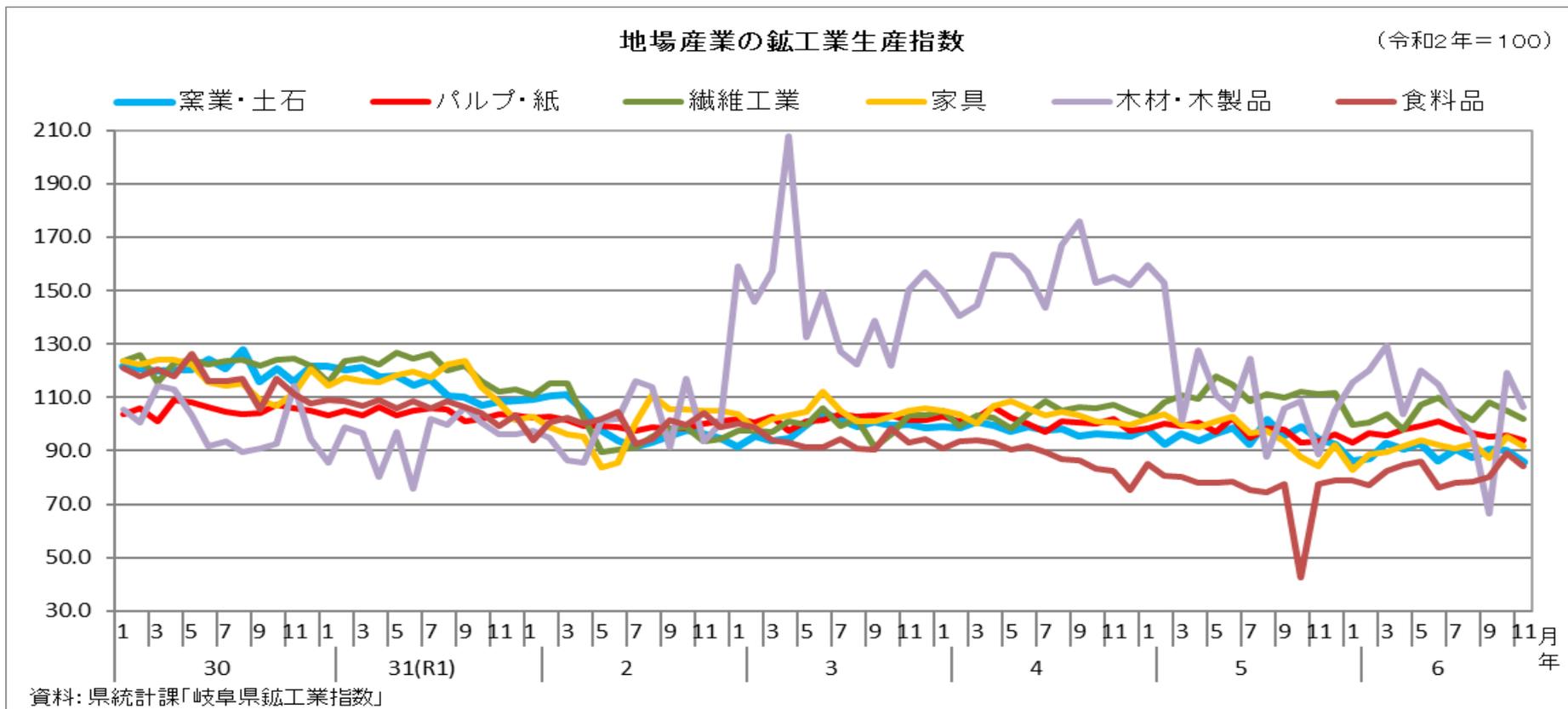
現場の動き

(※原油・原材料高騰、海外情勢等に伴う経済変動の影響はP6にも掲載)

- ◆ 自動車部品関連は、微減傾向が続いている。新規の見積もり案件もあるが、設備投資を要するものになるため、積極的に投資してまで対応するのか判断に迷っている。(輸送機械器具)
- ◆ 元々メキシコ工場でヨーロッパメーカー向けの部品生産を考えていたが、トランプ政権が発足したことを受け、タイ工場での生産に変更することになった。(輸送機械器具)
- ◆ 取引先の業況について好材料が4月以降にあるような話が聞こえるため、今は依然として耐える時期にある。(生産用機械器具)

製造業-2

○11月の地場産業(刃物を除く)の鉱工業生産指数は、木材・木製品で前月比▲10.8%、食料品で同▲5.6%、窯業・土石で同▲5.1%、家具で同▲3.9%、繊維工業で同▲3.0%、パルプ・紙で同▲1.8%となった。



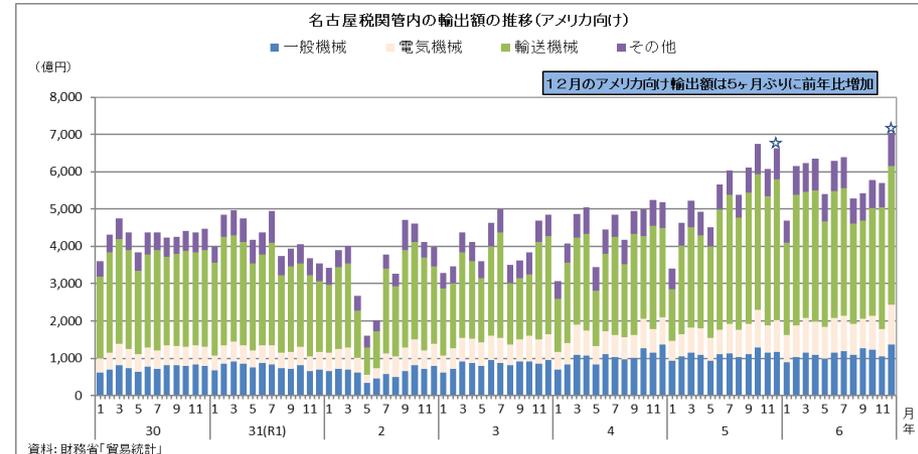
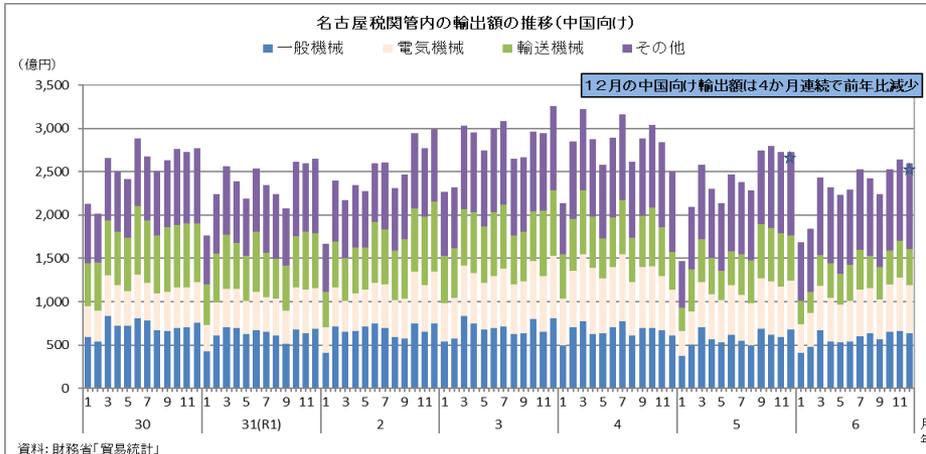
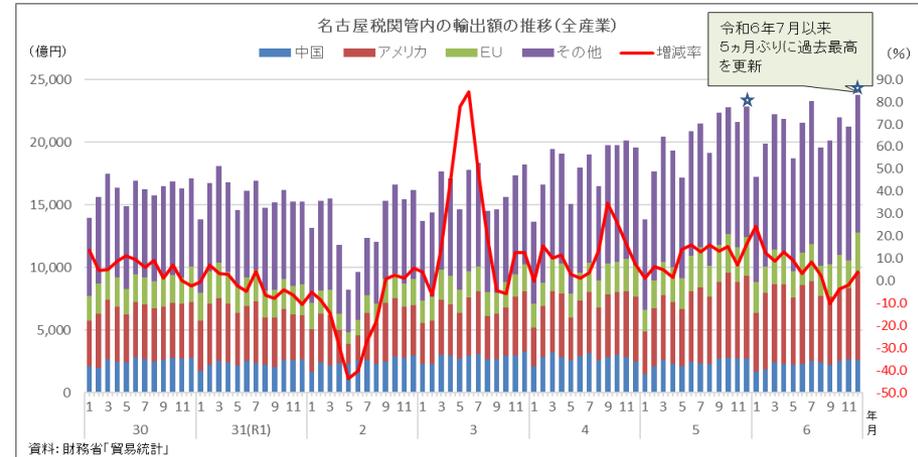
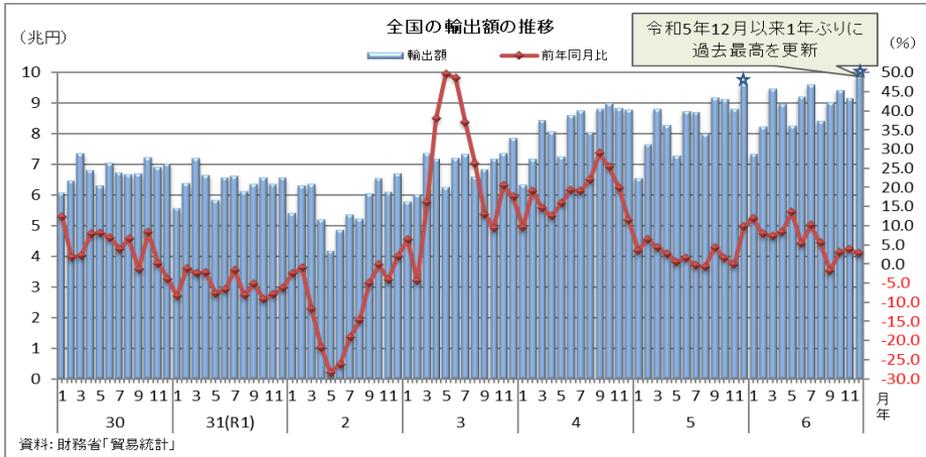
現場の動き

(※原油・原材料高騰、海外情勢等に伴う経済変動の影響はP6にも掲載)

- ◆ 円安の流れを受けてmade in Japanとして販路を輸出に注力する動きがある。(繊維・アパレル)
- ◆ 中国の商標問題の解決に伴い、見通しが上向く可能性がある。(陶磁器)
- ◆ お盆の供養に対する提灯の需要の減少傾向が大きい一方で、祭礼や装飾における提灯の需要は、インバウンド観光の増加に起因して増加傾向にある。(紙)

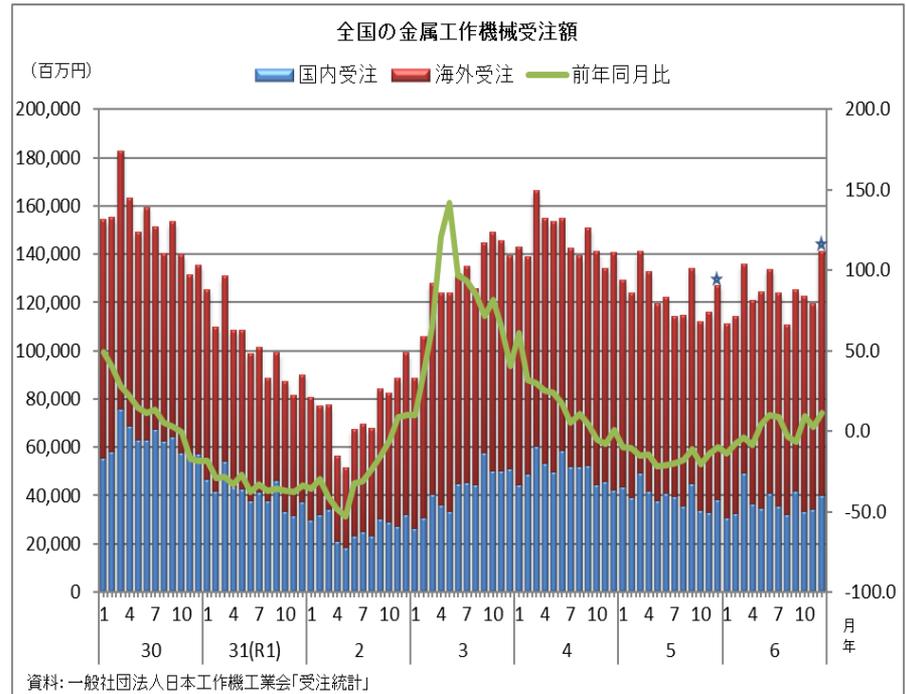
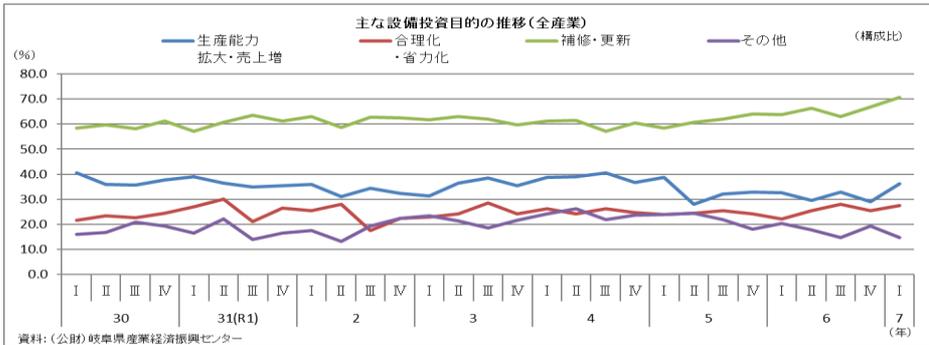
輸 出(名古屋税関管内)

- 12月の輸出額(全国)は、9兆9,101億円の前年同月比2.8%増加となった。
- 12月の輸出額(名古屋税関内)は、2兆3,747億円の前年同月比3.9%増加となり、4ヶ月ぶりに前年同月を上回った。
- 中国向けは、全体で前年同月比▲4.7%となった。その内、輸送機械で同▲21.6%、一般機械で同▲6.4%、電気機械で同▲0.6%となった。
- アメリカ向けは、全体で前年同月比6.2%増加となった。その内、電気機械で同27.7%、一般機械で同16.3%増加した一方で、輸送機械で▲1.7%となった。



設備投資

- 1-3月期の設備投資実施見通しは前期比▲6.6ポイント、設備投資意欲DI見通しは同▲1.7ポイントとなった。設備投資実施見通しの目的別では、「生産能力拡大・売上増」で前期比7.2ポイント、「補修・更新」で同3.9ポイント、「合理化・省力化」で同1.9ポイント上昇となった。
- 12月の全国の金属工作機械受注額は、全体では前年同月比11.2%増加と3ヶ月連続で前年を上回った。内訳は国内受注は同4.4%増加と2ヶ月連続で前年同月を上回り、海外受注は同14.1%増加と3ヶ月連続で前年同月を上回った。



現場の動き

- ◆ 現在、中華圏で春節に入っていることもあり、設備投資の動きは小さい。(非鉄金属)
- ◆ 省エネ診断をうけ、設備導入により10%程度の省エネが出来るとの報告書をもらったため、職場環境の改善と併せて社内で検討する予定。(卸売)
- ◆ 金利が上がったことで設備導入を止める企業は少なく、設備の規模を抑える等で対応している。(金融機関)

原油・原材料高騰に伴う経済変動の影響について

- ◆ ガス代については、単価が今年の112.3%となっている。補助が本格的になくなると非常に厳しい状況に戻る。(輸送用機械器具)
- ◆ 電気やガソリンといった一般消費者が等しく実感できる要因であれば、社会全体からの大きな圧力により価格転嫁につながるが、労務費はまだそうした圧力に至らず、応じてもらえた業者は1社のみである。(非鉄金属)
- ◆ 原材料等の客先交渉がし易いものは価格転嫁が出来るが、その他の購入物のコスト上昇分は客先交渉する際に具体的納得性の説明が必要なために簡単には進められない。(生産用機械器具)
- ◆ 卸業の特性上、メーカーからの要請は容認するも、販売先への転嫁要請ができないところがある。価格転嫁を模索するも、4割程度の転嫁にとどまる。(陶磁器)
- ◆ 燃料の高騰に伴う価格転嫁は一旦落ち着き、今後は人件費高騰分についての交渉を実施する予定。(運輸)

海外情勢に伴う経済変動の影響について

- ◆ 元々中国から他国シフトの流れが進んでいたが、トランプ大統領による中国製品への関税施策に伴うチャイナリスクから、取引先からもベトナムへの移管を勧める声が上がっている。(非鉄金属)

「物流2024問題」の影響について

- ◆ 大手に比べて中小企業は、協力が得られにくいところがあるが、根気よく説明を続けていく。(運輸)
- ◆ 顧客に対してのリードタイムの案内及び、中間拠点(結節点)での中継輸送を検討している。(運輸)

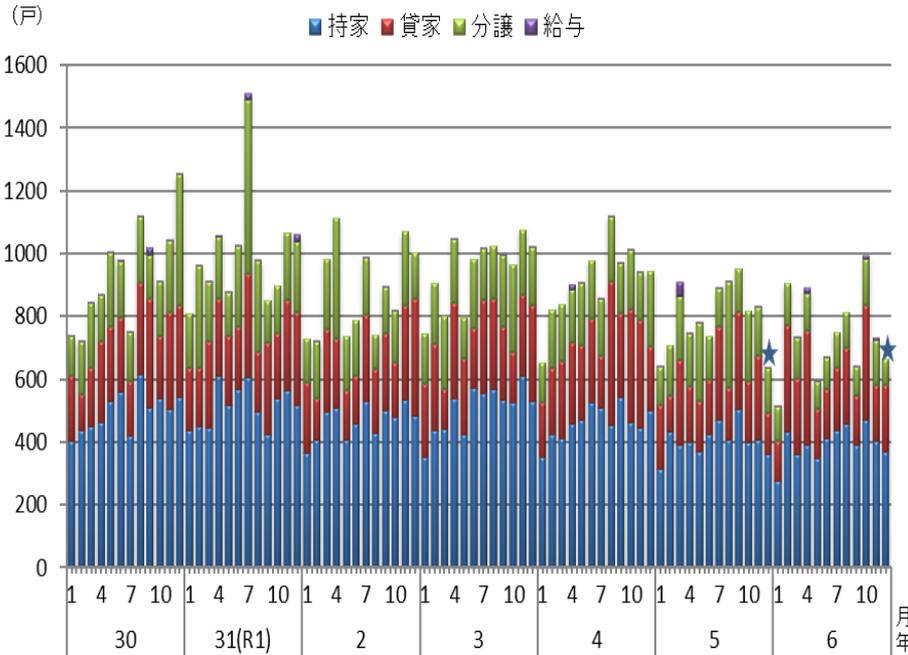
住宅・建築投資

○12月の住宅着工戸数は、前年同月比4.3%増加となった。

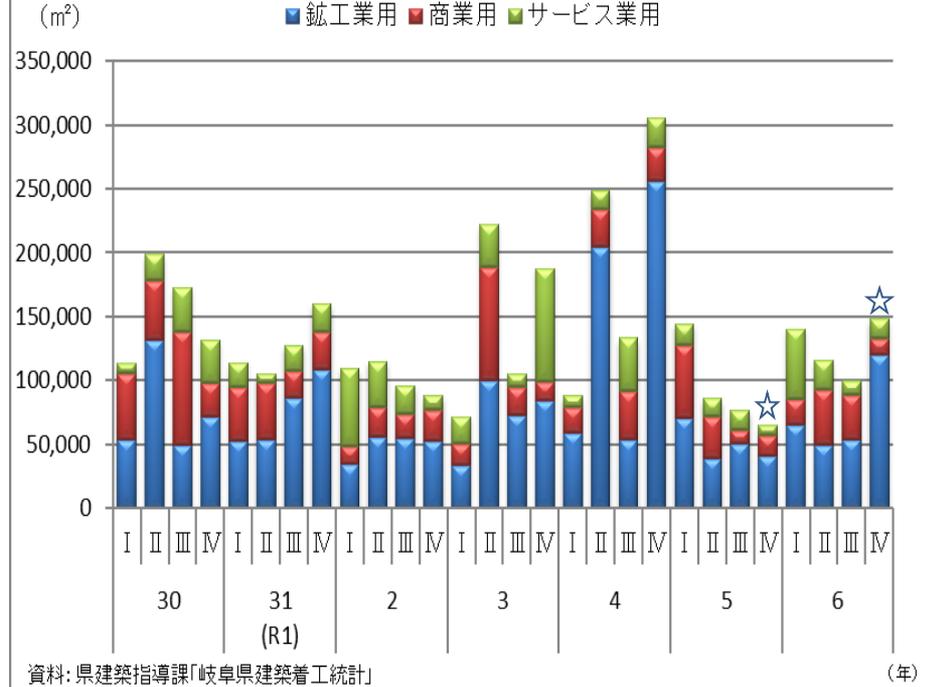
○貸家で前年同月比63.4%、持家で同1.9%増加した一方で、分譲で同▲43.4%となった。

○10-12月期の非居住用の建築着工床面積は、鉱工業用で前年同期比195.6%、サービス業用で同90.7%上昇した一方で、商業用で同▲20.6%となり、全体で同127.9%上昇となった。

新設住宅着工戸数の推移



県内建築着工床面積(非居住用・用途別抜粋)

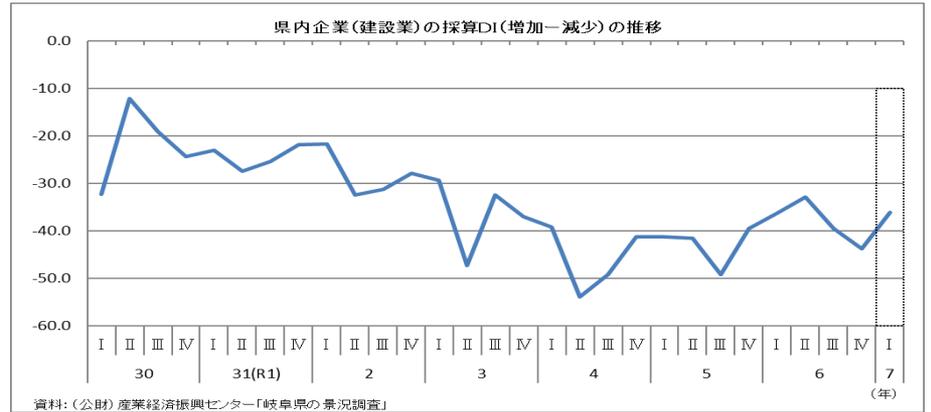
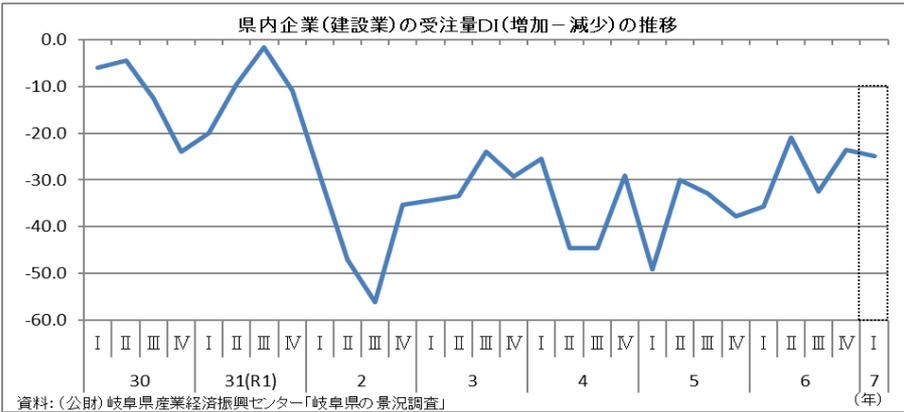
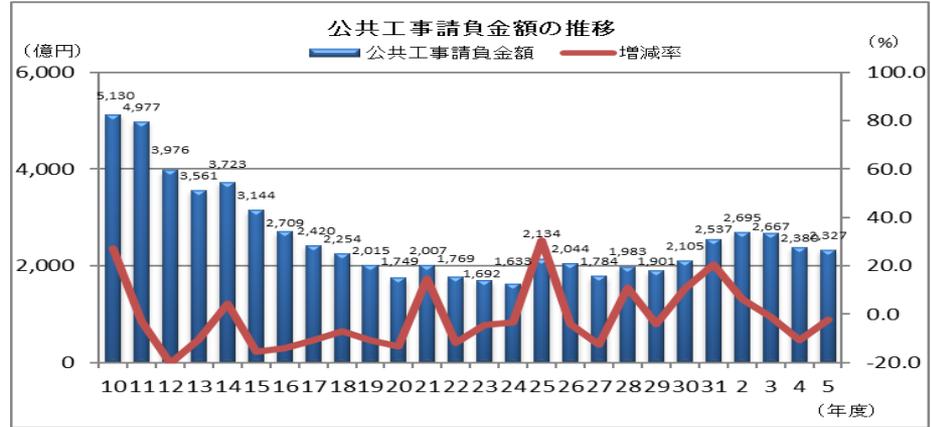
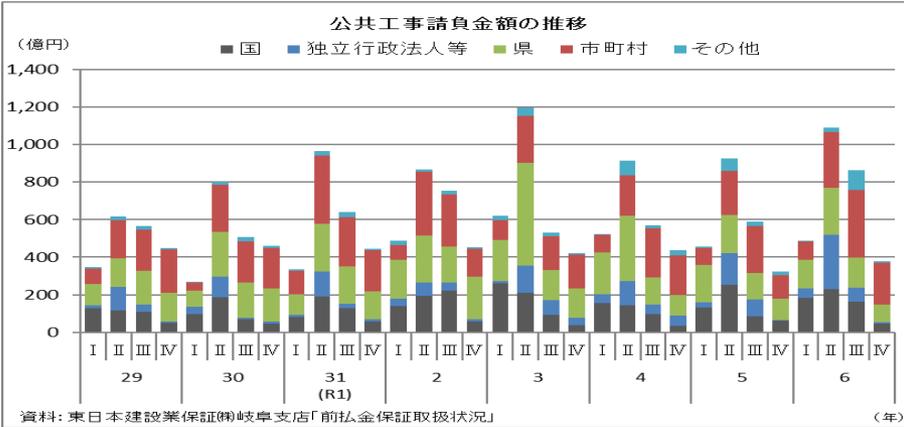


現場の動き

- ◆ 住宅の着工数が伸びず、木材需要回復の兆しが見えないため、今後もしばらくの間は、大きな変動はないとみている。(卸売)
- ◆ 今月の申込者数は例年並みであったため、春先の契約者数は若干回復する見込み。(住宅)
- ◆ 年が明けてからは停滞感が強く、業界の雰囲気は良くない。(卸売)

建設工事

- 10-12月期の発注者別の公共工事請負金額は、独立行政法人等で前年同期比174.2%増加した一方、国で同▲26.3%、県で同▲16.9%となり、全体で同17.9%増加となった。
- 県内建設業の1-3月期の受注量DI見通しは前期比▲1.4ポイントとなり、同採算DI見通しは同7.6ポイント上昇となった。



現場の動き

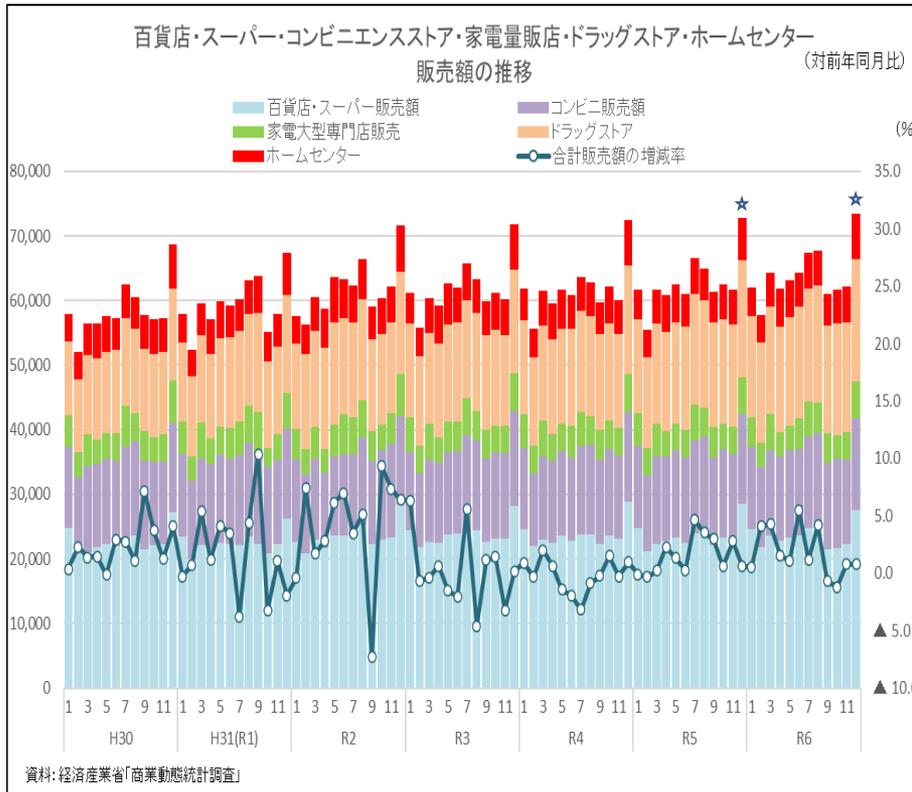
- ◆ 東海環状自動車道の工事が完了しつつあるため、今後、近隣での国交省の大きな工事が激減する見通し。
- ◆ 先月に比べ公共工事の受注が減ってきており、民間受注が増加傾向にある。

(以上、建設)

個人消費(流通・小売)

○12月はホームセンターで前年同月比5.8%、ドラッグストアで同5.0%、コンビニで同1.8%、家電大型専門店が0.8%上昇した一方で、百貨店・スーパーで同▲3.6%となり、全体で同0.8%上昇となった。

○12月の新車販売台数(除く軽)は、前年同月比▲14.5%と2ヶ月連続で前年同月を下回った。軽自動車は同▲4.9%と3ヶ月連続で前年同月を下回った。合算では同▲11.1%と、前年同月を2ヶ月連続で下回った。



現場の動き

- ◆ 飲食部門は新年会フェア、冬の特別メニューフェアなどにより堅調に推移している。
- ◆ 物販では都度セール等により原材料の価格高騰による影響は把握し難いが、飲食・食物販は価格改定が頻度高く実施されている。(以上、県内商業施設)

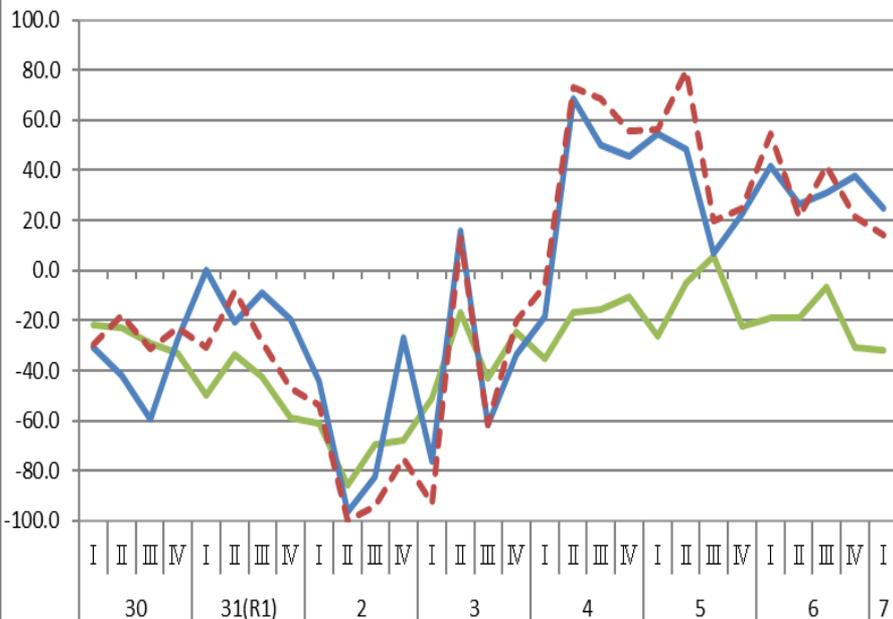
個人消費(流通・小売)－2

○1－3月期の売上高DI見通しは、サービス業(余暇関連)で前期比▲12.5ポイント、飲食店で同▲7.2ポイント、小売業で同▲1.6ポイントとなった。

○同じく販売価格DI見通しは、サービス業(余暇関連)で前期比▲31.3ポイント、飲食店で同▲21.4ポイント、小売業で同▲4.9ポイントとなった。

県内企業の売上高DI(増加-減少)の推移

— 小売業 — サービス業(余暇関連) - - - 飲食店

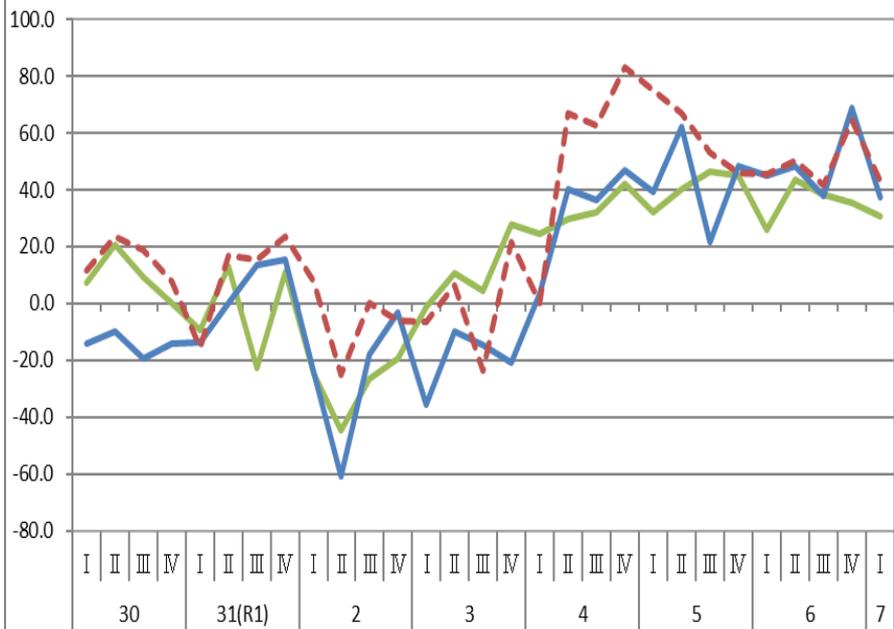


資料:(公財)岐阜県産業経済振興センター「岐阜県の景況調査」

(年)

県内企業の製品販売価格DI(上昇-下降)の推移

— 小売業 — サービス業(余暇関連) - - - 飲食店



資料:(公財)岐阜県産業経済振興センター「岐阜県の景況調査」

(年)

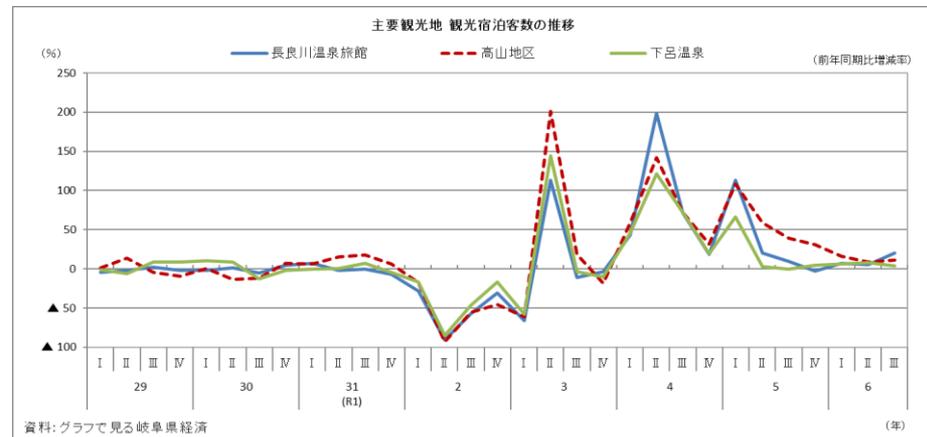
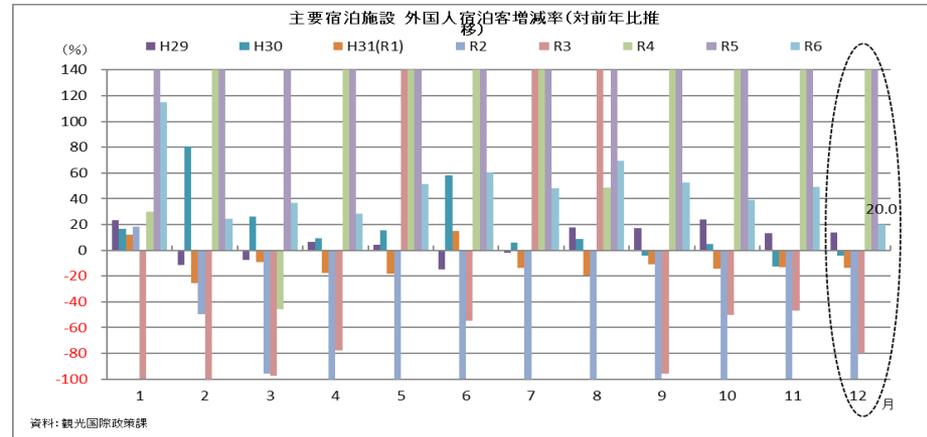
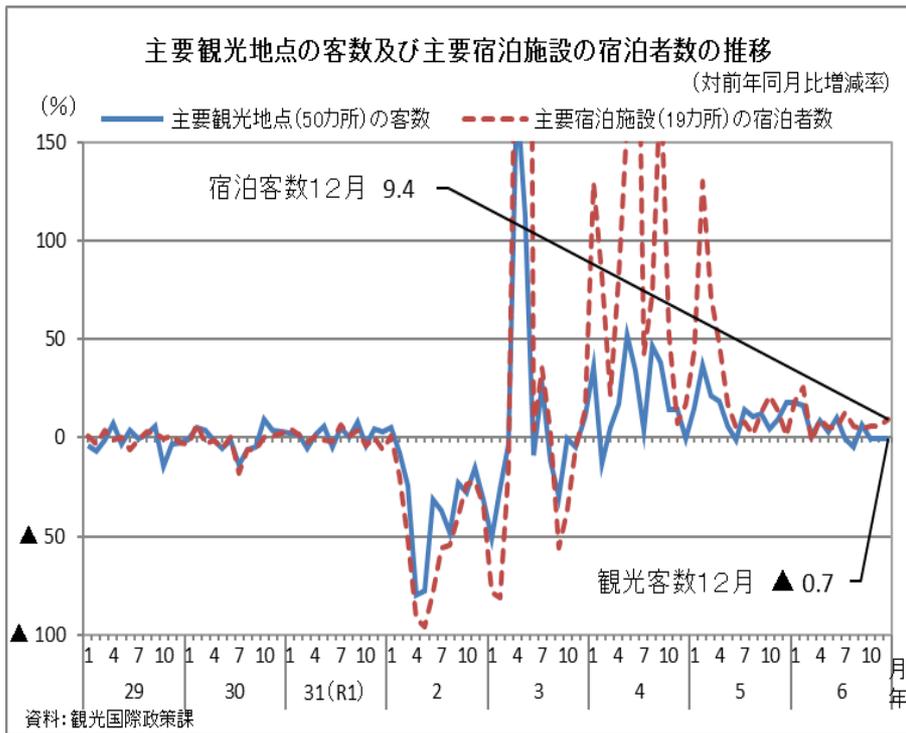
現場の動き

- ◆ 景況感は特別良くも悪くもないが、少し値上げした状態で売上が例年並みというのは、どちらかという良くない。(大垣市商店街)
- ◆ 年末年始は観光客による賑わいもあったが三が日を過ぎて激減したため、売上は昨年と同程度。(高山市商店街)

観光

- 主要観光地における12月の観光客数は、前年同月比0.7%減、令和元年同月比では、10.1%減となっている。
- 主要宿泊施設における12月の宿泊者数は、前年同月比9.4%増、令和元年同月比では、0.4%減となっている。

- 12月の主要宿泊施設における外国人宿泊者数は、コロナ前の令和元年同月比では、43.5%増となっている。

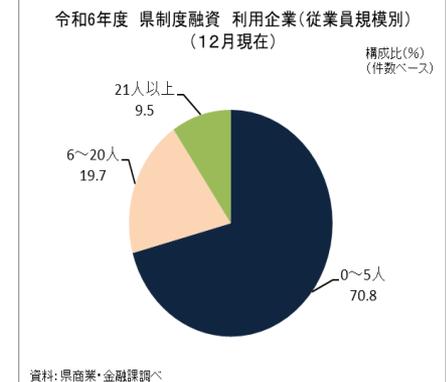
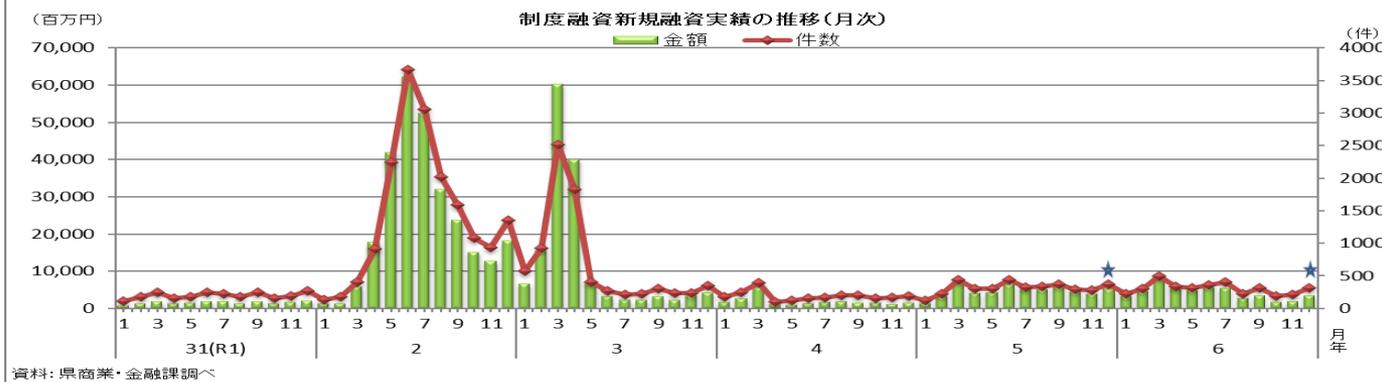
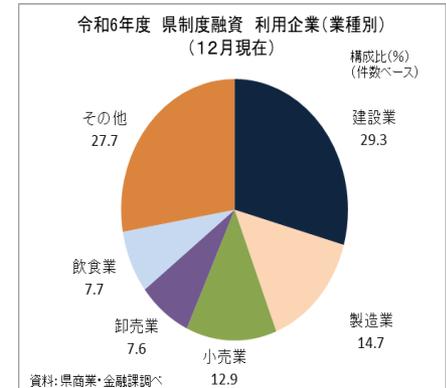
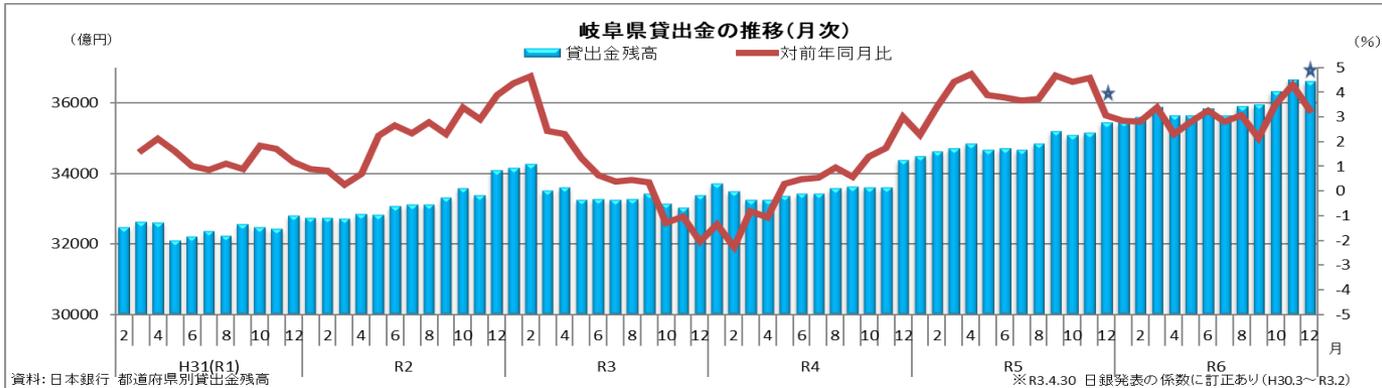


現場の動き

- ◆インターネット予約が増加。(岐阜市の宿泊施設)
- ◆人材不足が深刻化しており、日本人の人材確保が困難。(岐阜市、美濃加茂市、高山市の宿泊施設)
- ◆原材料等の物価や仕入れ単価の高止まりが継続。(高山市の宿泊施設)

資金繰り

- 12月の岐阜県貸出金残高は、3兆6,587億円で前年同月比3.3%増加し、32ヶ月連続で増加。
- 12月の制度融資実績は、金額が3,507百万円で前年同月比▲32.8%、件数は318件で同▲15.2%と、金額、件数共に5ヶ月連続で減少した。
- 制度融資利用企業の従業員規模別は、5人以下の事業所が全体の70.8%を占めている。



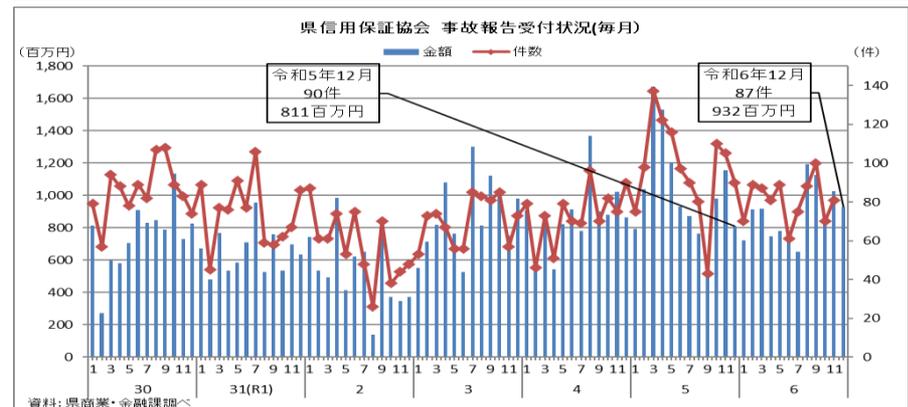
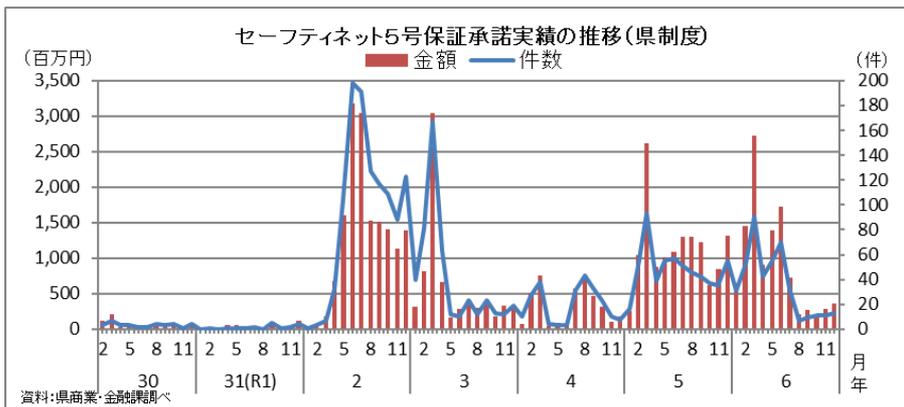
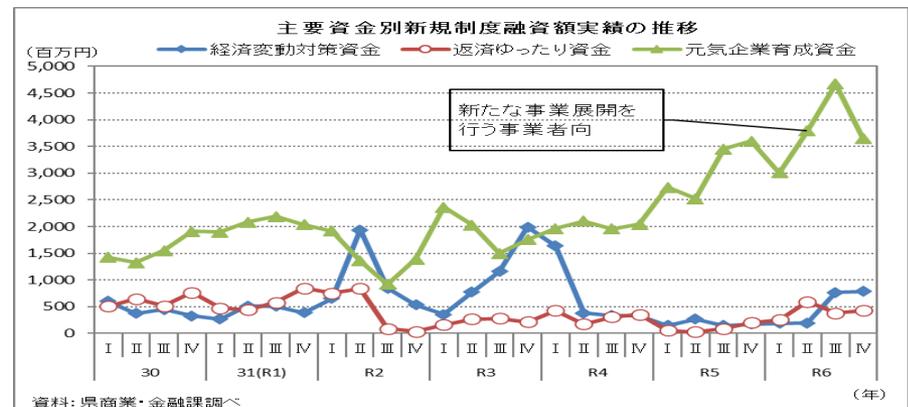
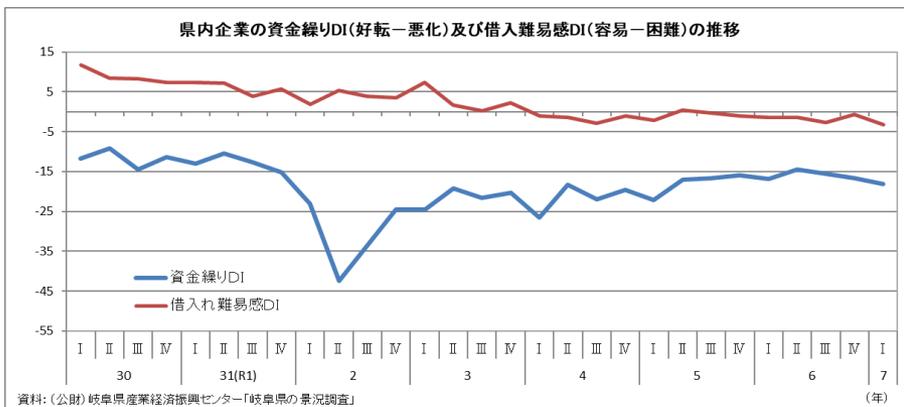
現場の動き

- ◆ 全体的に資金ニーズが根強く、特に製造業の資金ニーズが伸びている。
- ◆ 金利が上がりきる前に前倒しで運転資金を調達する企業もあれば、慎重になり、資金調達を後回しにする企業もあるため、総合的には変化しない見込み。

(以上、金融機関)

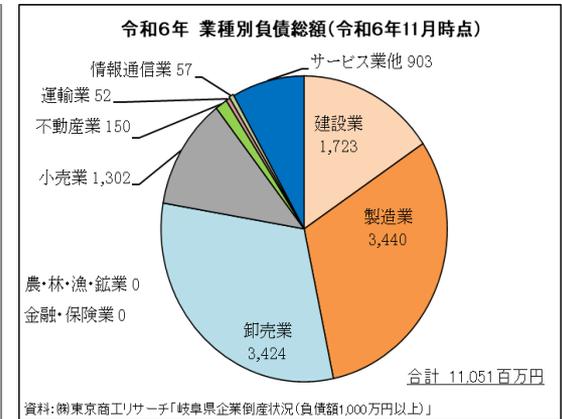
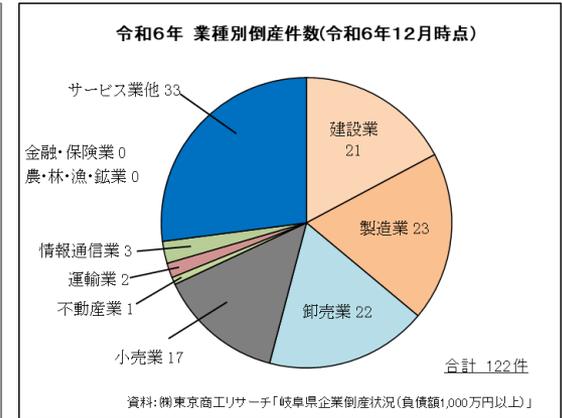
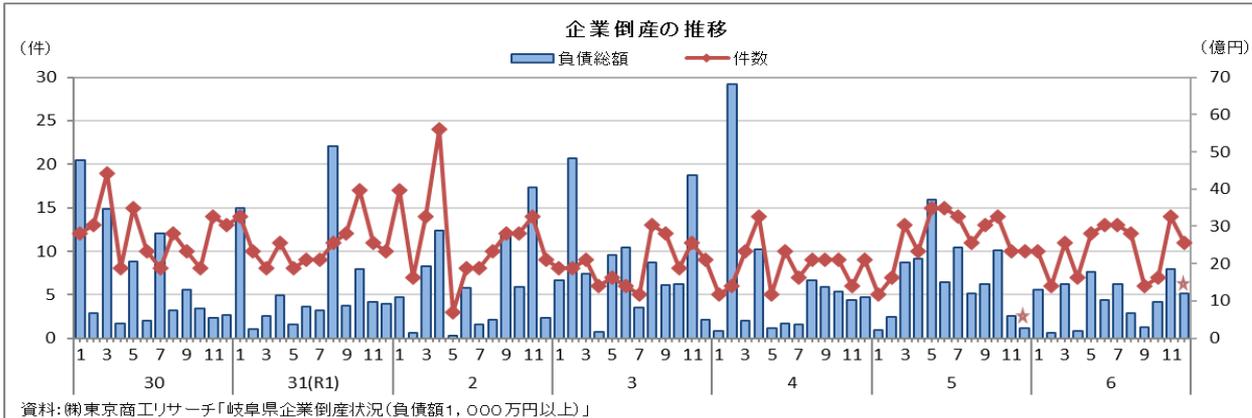
資金繰り-2

- 1-3月期の資金繰りDI見通しは▲18.2で、前期比▲1.5ポイントとなった。同借入難易感DI実績は▲3.2で、前期比▲2.6ポイントとなった。
- 10-12月期の主要資金別新規制度融資実績は、経済変動対策資金で前年同期比359.2%、返済ゆったり資金で同114.9%増加した。元気企業育成資金では同1.5%増加と11期連続で増加した。
- 12月のセーフティネット5号保証承諾実績は、件数が13件で前年同月比▲76.4%、金額は366百万円で同▲72.4%となった。
- 12月の事故報告(保証協会付融資3ヶ月以上延滞)状況は、件数は87件で前年同月比▲3.3%、金額は932百万円で同14.9%増加となった。



倒産

○12月単月の倒産件数は11件、負債総額は前月比▲649百万円の1,198百万円となった。
 ○令和5年12月は負債総額1億円以上の倒産は発生しなかったのに対して、令和6年12月は同倒産4件となった。負債総額は前年同月比1,070百万円増加となった。



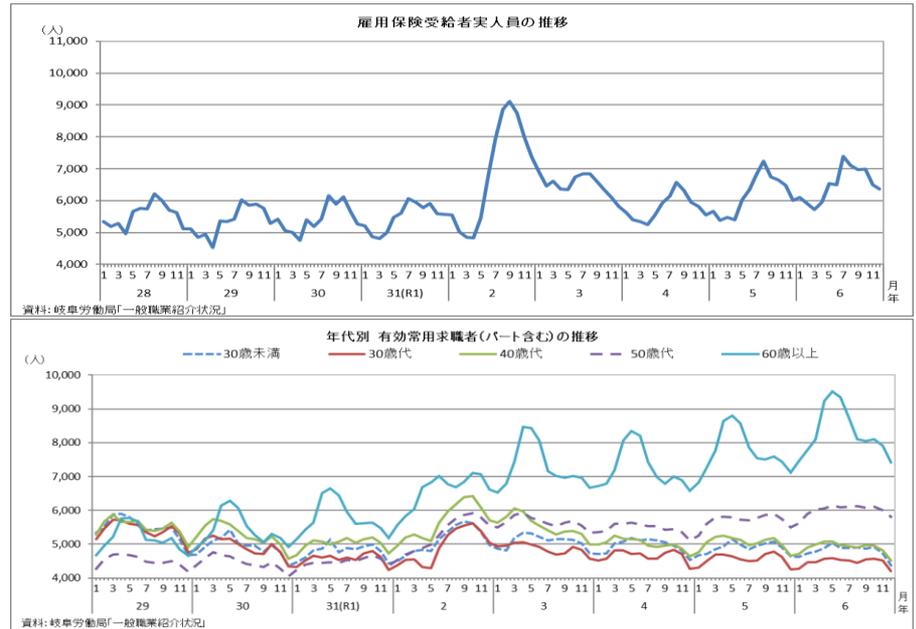
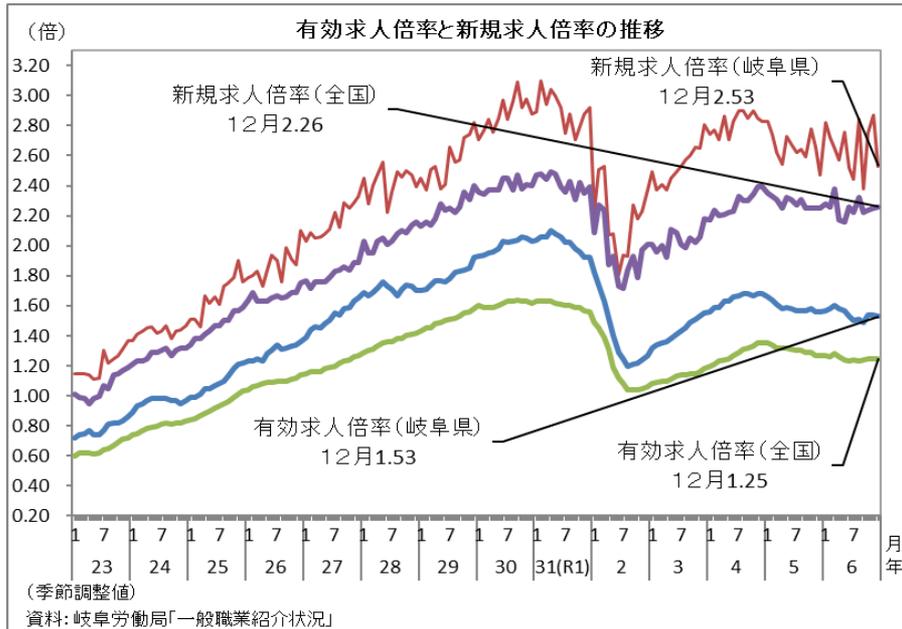
専門機関の分析(東京商工リサーチ・1月10日時点)

- ◆ 経済情勢については、円安に起因する物価高は続き、価格転嫁が進まない中小・零細企業の経営は一段と厳しく、原材料費や人件費高騰が収益低下を招いている。コロナ禍の資金繰り支援は終了したが、業績回復が遅れた企業の多くは過剰債務に陥り、新たな資金調達に課題を抱えている。地場産業のけん引役である自動車関連業界の生産回復は着実に進んでいるが、トランプ大統領が打ち出そうとしている関税引き上げによる生産面への影響は懸念され警戒感が高まっている。

雇用

- 12月の有効求人倍率は1.53倍と、前月比▲0.01ポイントとなった。
- 12月の新規求人倍率は2.53倍と、前月比▲0.34ポイントとなった。

- 12月の雇用保険受給者人員は、前月比▲2.1%となった。
- 有効常用求職者は、50歳代では23ヶ月連続、60歳代では24ヶ月連続で上昇した。



現場の動き

- ◆ 人材開発チームの設置や社内での人材養成に努めた結果、余裕があるわけではないが受注増にも対応できている。(はん用機械)
- ◆ 現在の状況において人員は適正であるが、新規募集に対する応募者の減少を考えると、生産工程での機械化導入による合理化を更に進める必要を感じている。(紙)
- ◆ 今後の賃上げについては、最低3%は維持していきたいが厳しく、仮に3%が達成できない場合は、賞与を増やすことで調整することも考えている。(輸送用機械)
- ◆ 賃上げをしないと人が来ないので、業績を上げて賃金に反映していくしかないが、中小企業が大企業のような上げ幅についていくのは厳しい。(木工)

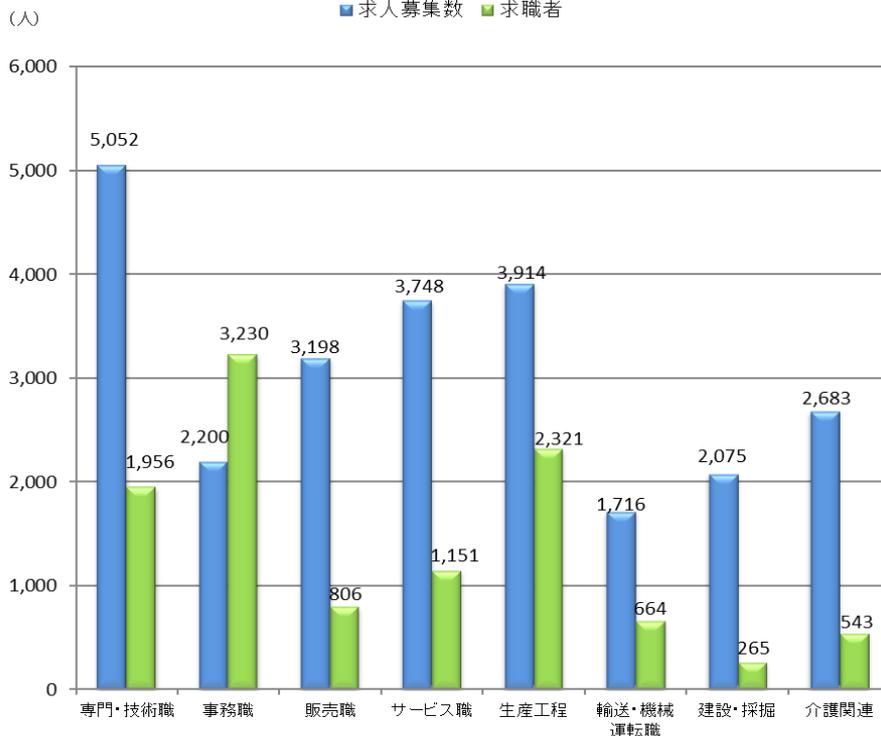
雇 用(職業別)

○有効求人倍率は、建設・採掘で7.83倍、介護関連で4.94倍、販売職で3.97倍、サービス職で3.26倍など、引き続き人手不足の状況は続いている。

○一方で、事務職の有効求人倍率は0.68倍に留まり、求職者のニーズと、求人側のニーズのミスマッチが続いている。

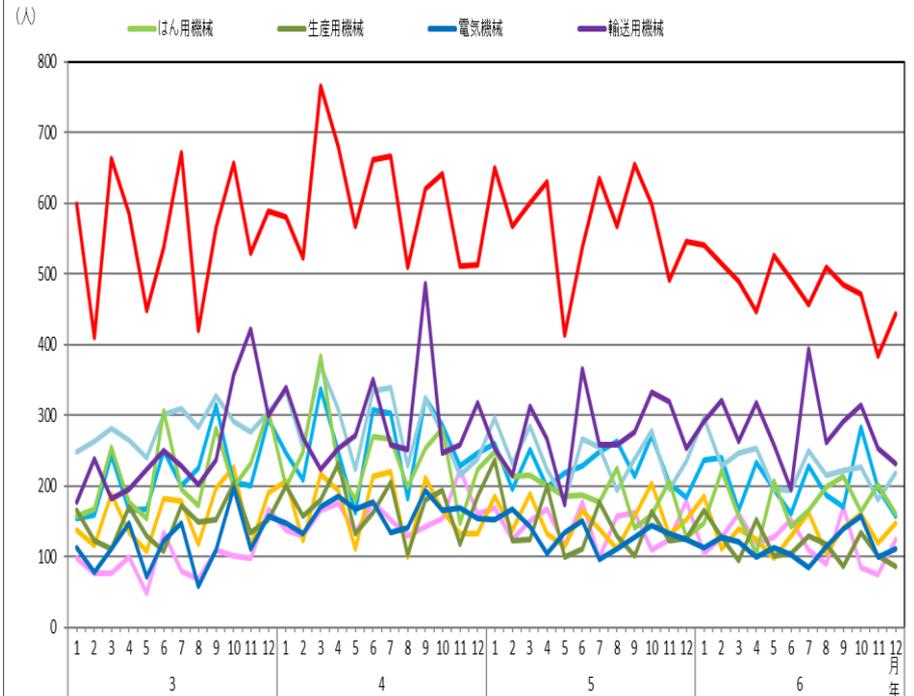
○12月の主要産業別の新規求人数は、はん用で前年同月比25.8%増加した一方で、生産用機械で同▲31.0%、繊維工業で同▲30.2%、食料品で同▲18.7%、窯業・土石で同▲14.1%、電気機械で同▲9.7%、輸送用機械で▲8.7%、金属製品で▲7.2%、プラスチック製品で同▲2.6%となった。

12月 職業別有効求人募集数・有効求職者数(常用的フルタイム)



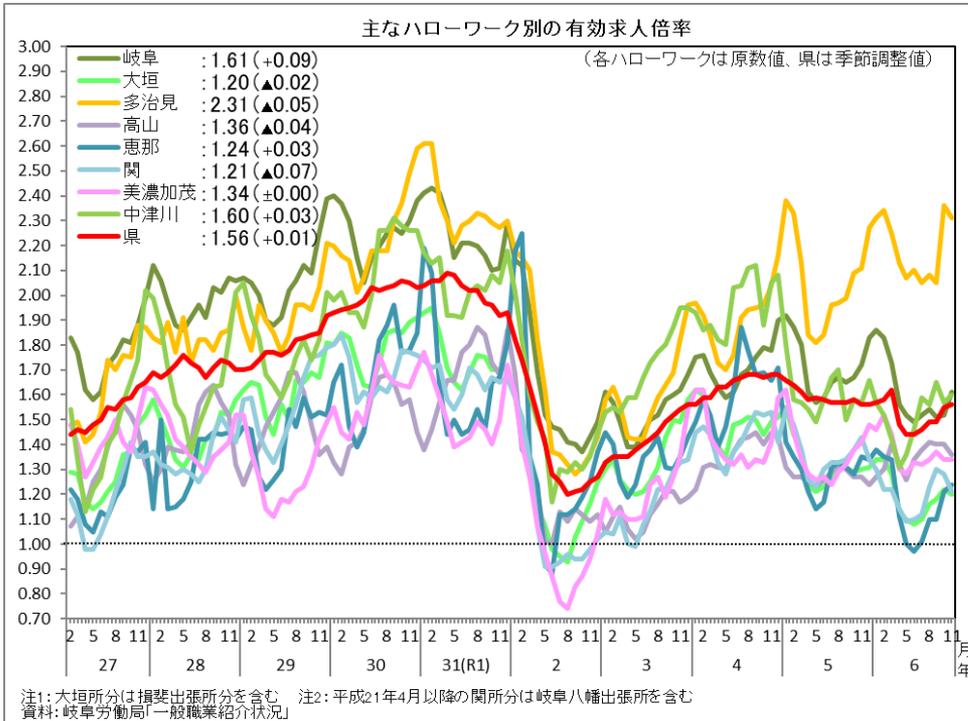
資料：岐阜労働局「求人・求職バランスシート」

主要産業別 新規求人数(一般+パート)推移



資料：岐阜労働局「一般職業紹介状況」

雇用(地域別)



○12月の主なハローワーク別の有効求人倍率は、岐阜、大垣、多治見、高山、美濃加茂、中津川で前月比で増加となった。

現場の動き(前月比)

<ハローワーク岐阜>

- ◆求人者数は減少、求職者数は横ばい。
- ◆雇用保険受給者数は横ばい。

<ハローワーク大垣>

- ◆求人者数、求職者数は増加。
- ◆雇用保険受給者数は増加。

<ハローワーク多治見>

- ◆求人者数、求職者数は増加。
- ◆雇用保険受給者数は増加。

<ハローワーク高山>

- ◆求人者数はやや増加、求職者数は増加。
- ◆雇用保険受給者数は増加。

<ハローワーク恵那>

- ◆求人者数は減少、求職者数は増加。
- ◆雇用保険受給者数は増加。

<ハローワーク関>

- ◆求人者数、求職者数は増加。
- ◆雇用保険受給者数はやや減少。

<ハローワーク美濃加茂>

- ◆求人者数、求職者数は増加。
- ◆雇用保険受給者数は横ばい。

<ハローワーク中津川>

- ◆求人者数は横ばい、求職者数は増加。
- ◆雇用保険受給者数は増加。

<窓口の様子>※前月比

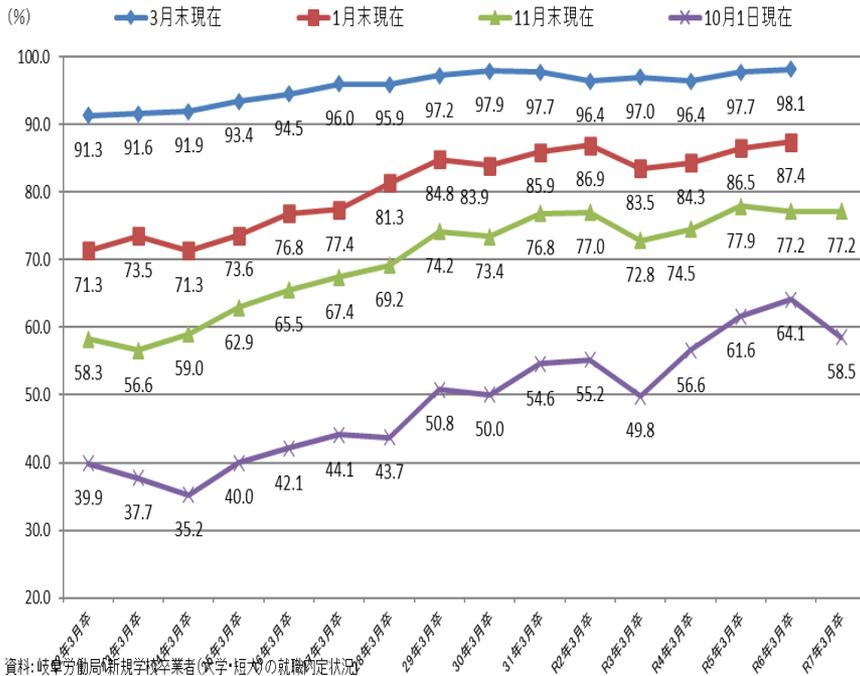
- ◆多治見、高山、恵那、関、美濃加茂及び中津川で混雑している、大垣でやや混雑している、岐阜で同じくらいの状況。

雇 用(大学・短大新卒者の就職)

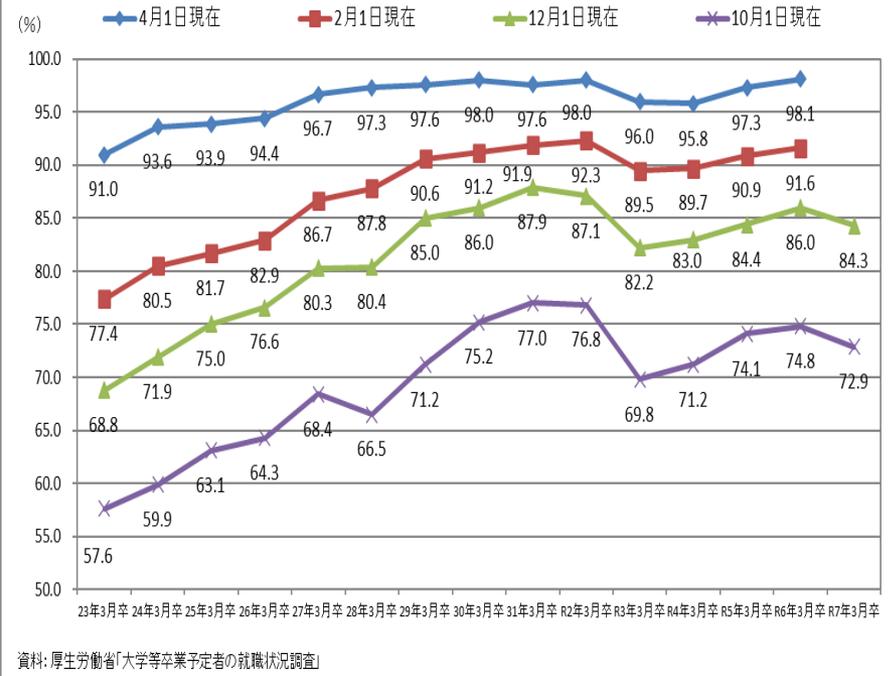
○岐阜県の令和6年11月末現在の大学・短大卒業者(令和7年3月卒業)の就職内定率は、77.2%であり、前年同時点と比べ同率となった。

○全国の令和6年12月1日現在の大学卒業者(令和7年3月卒業)内定率は84.3%であり、前年同時点と比べ▲1.7ポイントとなった。

新規卒業者(大学・短大)の就職内定率の推移<岐阜県>



新規卒業者(大学)の就職内定率の推移<全国>



現場の動き(2025卒、2026卒の動きなど)

<大学へのヒアリング>

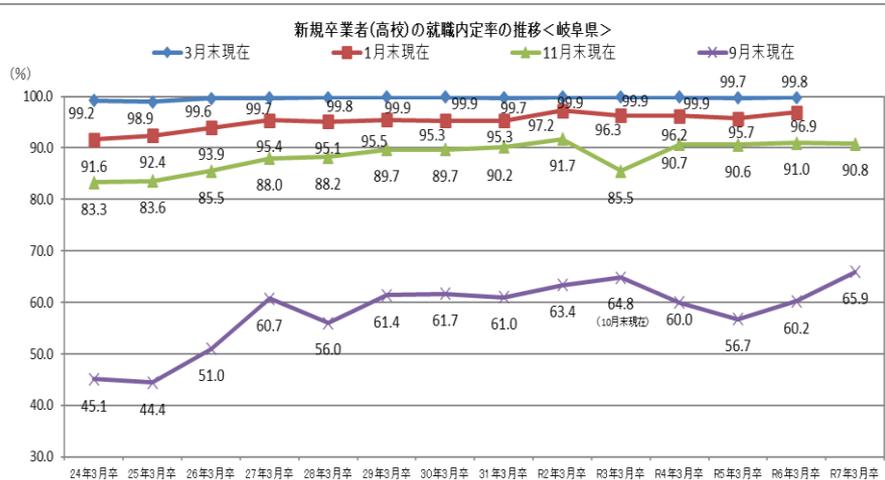
- ◆ 25年卒からの相談はほとんど無い。企業からの求人は引き続き多数来ている。
- ◆ 26年卒からの相談はテスト期間、春休みということもあり、前月より少し落ち着いている。内定報告は前月同様少し来ており、今年は内定確保の早期化が進んでいると思われる。

(以上、岐阜・愛知県内大学)

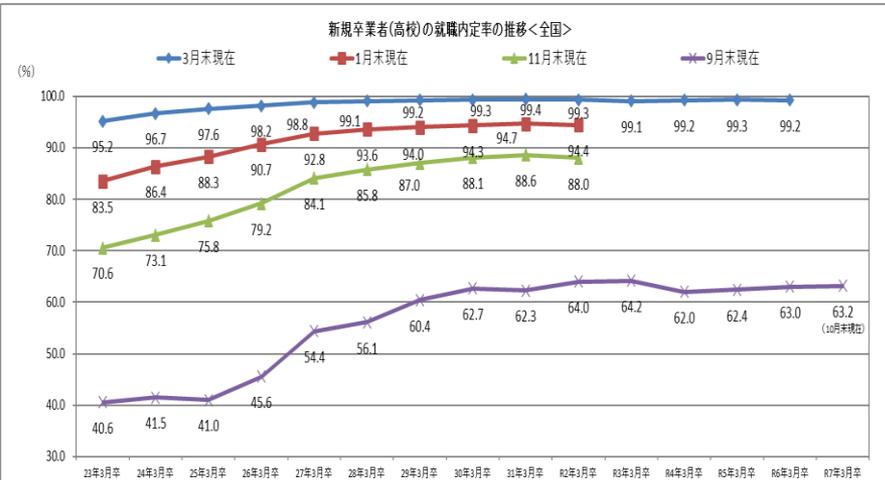
雇用(高校新卒者の就職)

○岐阜県の令和6年11月末現在の高校卒業者(令和7年3月卒業)の就職内定率は90.8%であり、前年同時点と比べ▲0.2ポイントとなった。

○全国の令和6年9月末時点の高校卒業者(令和7年3月卒業)の就職内定率は63.2%であり、前年同時点と比べ0.2ポイント上昇した。

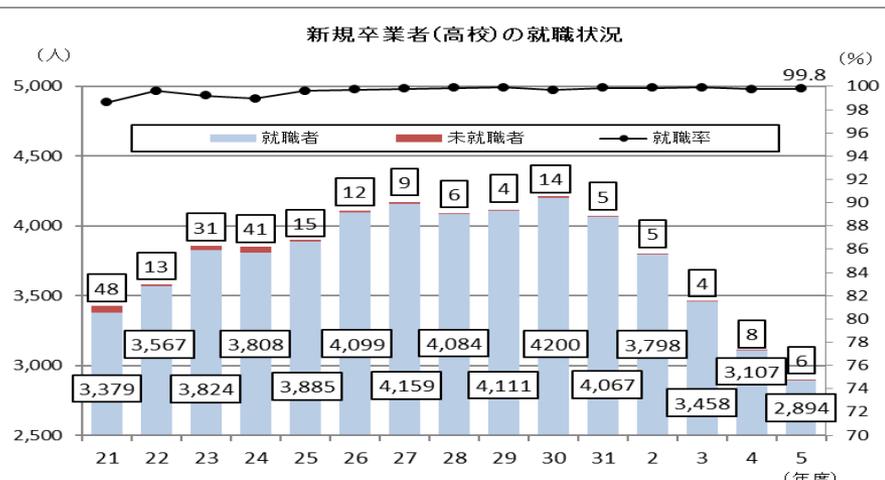


資料:岐阜労働局「新規学校卒業者の職業紹介状況」

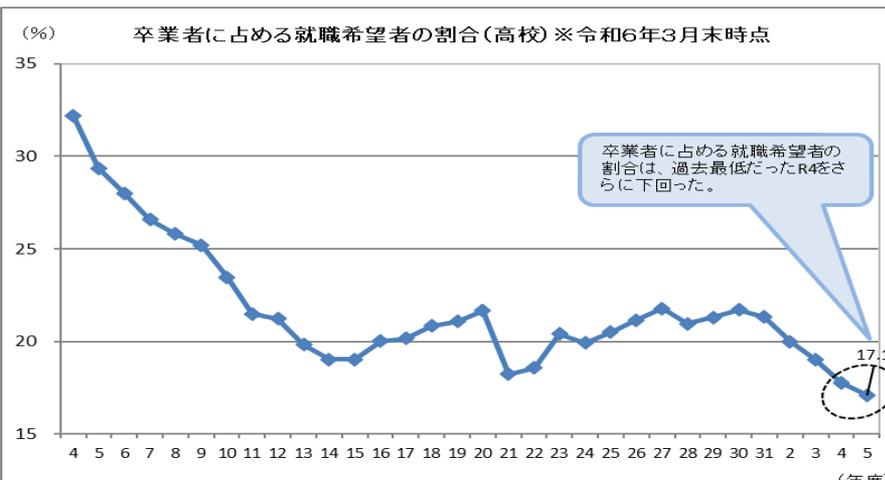


資料:厚生労働省「高校・中学新卒者の求職・内定状況等」

※R3年3月から「11月末」及び「1月末」は集計していません。



資料:岐阜労働局「新規学校卒業者の職業紹介状況」

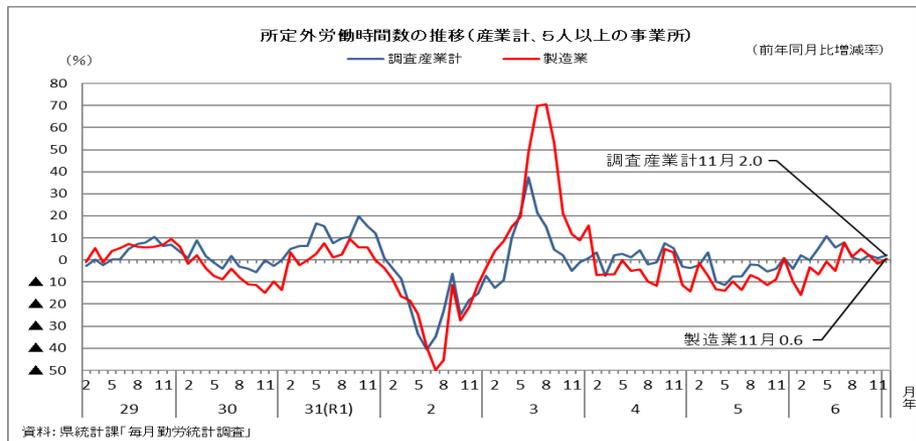
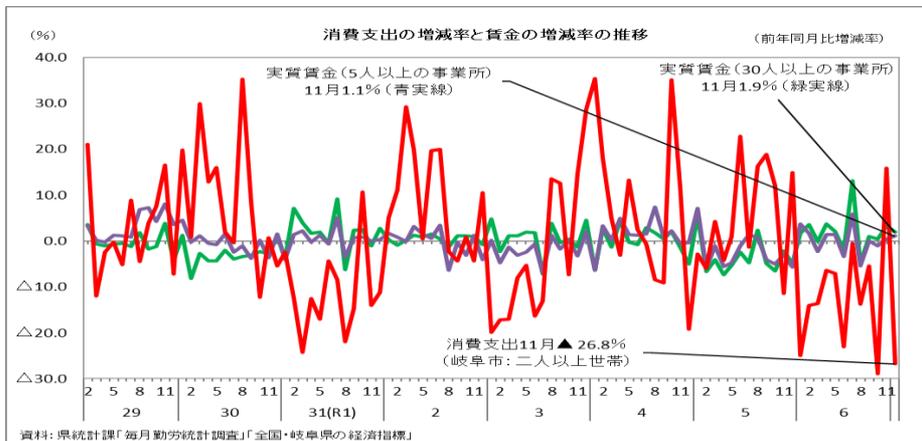
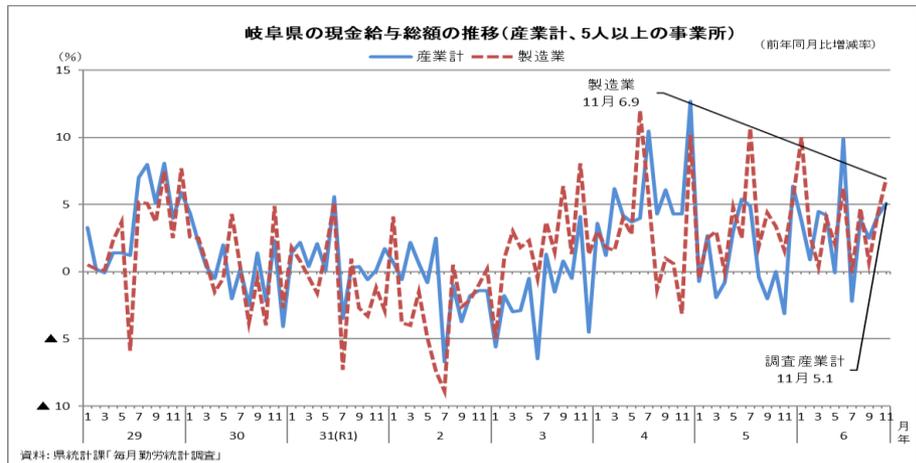
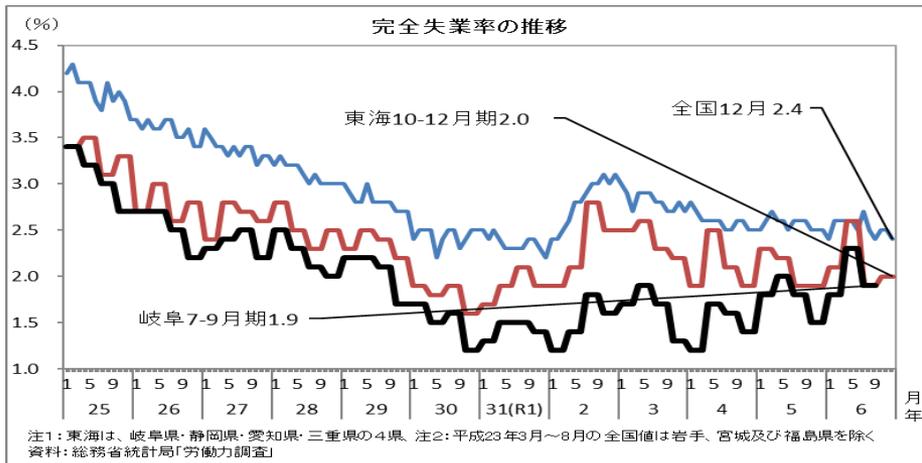


資料:岐阜労働局「新規学校卒業者の職業紹介状況」

卒業者に占める就職希望者の割合は、過去最低だったR4をさらに下回った。

雇 用(完全失業率等)

- 全国の11月の完全失業率は2.4%で前月比▲1.0%となった。岐阜県の7-9月期の平均は1.9%で前期比▲0.4ポイントとなった。
- 11月の現金給与総額は、調査産業計で前年同月比5.1%、製造業で同6.9%上昇となった。
- 11月の実質賃金増減率は、30人以上の事業所で前年同月比1.9%、5人以上で1.1%上昇となった。11月の消費支出については同▲26.8%となった。
- 11月の所定外労働時間数は前年同月比で2.0%増加となった。



＜経済・雇用の現状（総括）＞

- 製造業は、11月の鉱工業生産指数は▲4.7%となった。ヒアリングでは、取引先の業況について好材料が4月以降にあるような話が聞こえるため、今は依然として耐える時期にあるとの声や、自動車部品関連において微減傾向が続いているなか、新規の見積もり案件もあるが、設備投資を要するものになるため、積極的に投資してまで対応するのか判断に迷っているとの声が聞かれた。
- 地場産業は、11月の鉱工業生産指数は、全産業で下降となった。ヒアリングでは、商品によってはインバウンドの効果が出ているとの声や、円安の流れを受けてmade in Japanとして販路を輸出に注力する動きがあるとの声が聞かれた。
- 設備投資は、12月の全国の金属工作機械受注額は、前年同月比11.2%増加となった。ヒアリングでは、省エネ診断により効果が期待できた設備の導入を検討する予定との声が聞かれる一方で、中華圏で春節に入っていることもあり、設備投資の動きは小さいとの声が聞かれた。
- 個人消費は、12月の販売額は、全体で前年同月比0.8%増加となった。ヒアリングでは、飲食部門は新年会フェア、冬の特別メニューフェアなどにより堅調に推移しているとの声や、物販では都度セール等により原材料の価格高騰による影響は把握し難いが、飲食・食物販は価格改定が頻度高く実施されているとの声が聞かれた。
- 観光は、宿泊者数はインバウンド客の増加等により、前年同月と比較しプラスとなるなど、回復傾向にあり、コロナ前と同程度まで戻ってきている。宿泊施設からのヒアリングでは、人手不足に苦慮しているとの声が多くあり、外国人人材を活用する施設もあった。
- 企業の資金繰りは、12月の制度融資実績は、金額で5ヶ月連続で減少となった。資金需要は全体的に根強く、特に製造業の資金ニーズが伸びているとの声が聞かれた。
- 雇用面は、12月の有効求人倍率は1.53倍と3ヶ月連続で1.50倍を上回った。ヒアリングでは、人材開発チームの設置や社内での人材養成に努めた結果、受注増に対応できているとの声が聞こえる一方で、賃上げをしないと人が来ないので、業績を上げて賃金に反映していくしかないが、中小企業が大企業のような上げ幅についていくのは厳しいとの声が聞かれた。